

# 記入例

(様式 1)

平成〇〇年〇〇月〇〇日

## 土砂搬入申込書

〔新規〕第 〇 回変更 (土量増、工期延伸 承諾番号 〇〇〇〇)

郵送日を記入してください。

(株) 建設資源広域利用センター 御中

工事請負者 住所 東京都渋谷区渋谷2-17-5

法人名 首都圏建設株式会社

代表者職氏名 代表取締役 首都圏 太郎 (印)

次のとおり建設発生土の搬入を申し込みます。

なお、搬入中及び搬入後の土砂の中に受け入れ先の品質基準に適合しないものの混入が発見された場合は速やかに撤去します。

搬入先 (受入地名)	青梅地区 (ケ)		小数点第3位以下を四捨五入して下さい。
発注機関	広域町水道建設事務所		
工事名	平成〇〇年水23号 広域町水道送水管敷設工事		
工事場所	広域町大字利用		
契約工期	当初・変更前 平成〇〇年6月1日 ~ 平成〇〇年2月15日		
	変更後 " " 日		
搬入申込土量 (地山)	当初・変更前	変更後	昼間及び夜間の搬入が同一工事で生じる場合は、別々に申込書を作成してください。
	2,000.00 m <sup>3</sup>		
土質	第3種建設発生土 (ローム)	平均単位体積重量 (地山)	1.8 t/m <sup>3</sup>
	汚染要因となる環境項目への該当 <input type="checkbox"/> 工場・病院跡地など汚染の恐れがある地域 <input type="checkbox"/> 法令に基づく届け出、調査を行った地域 <input checked="" type="checkbox"/> 上記項目には該当しない地域		
工事請負者担当者 (氏名) 建設 次郎 (電話) 000-000-0000 (携帯) 000-0000-0000 搬入承諾書送付先 (FAX) 000-000-0000 (〒) 123-0045 (宛名) 〇〇県〇〇市〇〇123 首都圏建設(株) 〇〇作業所			

上記のとおり相違ないことを申し添えます。

発注機関 (所属) 広域町水道建設事務所

監督員 (氏名) 上水道男 (印)

(電話) 000-000-0000 (FAX) 000-000-0000

### 注意

- 承諾番号は変更の場合のみご記入ください。
  - 平均単位体積重量 (地山) は1.8 t/m<sup>3</sup>とします。これより大きい値となる場合は根拠資料を用意のうえご相談ください。
  - 汚染要因となる環境項目への該当は該当箇所にご記入ください。
  - 発注機関監督員の印は発注元が公共機関 (国、地方公共団体、それらの関係機関) の場合は必ず記入・押印してください。
- ※ 添付書類はUCR受入地利用案内及びHP掲載の提出書類一覧表にてご確認ください。

# 記入例

(様式 2)

平成〇〇年〇〇月〇〇日

## 土砂搬入計画表

1 工事名 平成〇〇年水23号 広域町水道送水管敷設工事

2 工事請負者 首都圏建設株式会社

搬入完了予定日は、契約工期以降に設定することはできません。

3 土砂搬入予定期間 平成〇〇年 7月 4日 ~ 平成〇〇年 11月 8日

4 搬入申込土量 2,000.00 m<sup>3</sup>、ダンプ総台数 361台 (10t車)

5 搬入予定

- ・各月の土量は 5.55 m<sup>3</sup> (10t車、1.8t/m<sup>3</sup>の場合) の倍数とし、最終搬出月に調整してください。
- ・搬出がない月が間にある場合は詰めて記載してください。
- ・ダンプの積載量毎 (10t、4t、…) に表を作成してください。

① 〇〇年 7月分 土量 421.80 m<sup>3</sup>/月、平均土量 22.20 m<sup>3</sup>/日、ダンプ延 4台/日

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
			○	○	○	○			○	○	○	○					○	○	○	○			○	○	○	○				○

② 〇〇年 8月分 土量 355.20 m<sup>3</sup>/月、平均土量 22.20 m<sup>3</sup>/日、ダンプ延 4台/日

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
○	○	○	○				○	○	○											○	○	○	○				○	○	○	○

③ 〇〇年 9月分 土量 444.00 m<sup>3</sup>/月、平均土量 22.20 m<sup>3</sup>/日、ダンプ延 4台/日

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
○			○	○	○	○	○			○	○	○	○						○	○	○	○			○	○	○	○	

④ 〇〇年 10月分 土量 666.00 m<sup>3</sup>/月、平均土量 33.30 m<sup>3</sup>/日、ダンプ延 6台/日

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	○	○	○	○	○				○	○	○	○				○	○	○	○				○	○	○	○			○	

⑤ 〇〇年 11月分 土量 113.00 m<sup>3</sup>/月、平均土量 22.20 m<sup>3</sup>/日、ダンプ延 4台/日

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
○	○				○	○	○																						

⑥ 年 月分 土量 m<sup>3</sup>/月、平均土量 m<sup>3</sup>/日、ダンプ延 台/日

1	2	3	4	5	6	7	8	9																						
---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

- ・各月のダンプの延台数を足したものがダンプ総台数になるようにしてください。
- ・各月の土量の合計が搬入申込土量になるようにしてください。
- ・日当たりダンプ延台数×積載土量=日当たり平均土量
- ・日当たり平均土量×月当たり稼働(作業)日数=月当たり土量

発券を分割で申請する場合のみ提出してください。

## 記入例

(様式 3)

平成〇〇年〇〇月〇〇日

# 分割発券申請予定表

1 工事名 平成〇〇年水23号 広域町水道送水管敷設工事

2 工事請負者 首都圏建設株式会社

3 搬入申込土量 2,000.00 m<sup>3</sup>

4 分割申請回数及び発券土量等

申請回数	申請予定日	券種	発券枚数 (b)	積載土量 (c)	発券土量 (b) × (c)	発券土量の合計 ( ) は累計土量
第 1 回	6 月 2 2 日	10 t 車券 t 車券 t 車券	217 枚 枚 枚	5.55 m <sup>3</sup> m <sup>3</sup> m <sup>3</sup>	1,204.35 m <sup>3</sup> m <sup>3</sup> m <sup>3</sup>	1,204.35 m <sup>3</sup>
第 2 回	8 月 1 5 日	10 t 車券 t 車券 t 車券	144 枚 枚 枚	5.55 m <sup>3</sup> m <sup>3</sup> m <sup>3</sup>	799.20 m <sup>3</sup> m <sup>3</sup> m <sup>3</sup>	799.20 m <sup>3</sup> ( 2,003.55 m <sup>3</sup> )
第 回	月 日	t 車券 t 車券 t 車券	枚 枚 枚	m <sup>3</sup> m <sup>3</sup> m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup> m <sup>3</sup> m <sup>3</sup>	( m <sup>3</sup> )
第 回	月 日	t 車券 t 車券 t 車券	枚 枚 枚	m <sup>3</sup> m <sup>3</sup> m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup> m <sup>3</sup> m <sup>3</sup>	( m <sup>3</sup> )
第 回	月 日	t 車券 t 車券 t 車券	枚 枚 枚	m <sup>3</sup> m <sup>3</sup> m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup> m <sup>3</sup> m <sup>3</sup>	( m <sup>3</sup> )
第 回	月 日	t 車券 t 車券 t 車券	枚 枚 枚	m <sup>3</sup> m <sup>3</sup> m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup> m <sup>3</sup> m <sup>3</sup>	( m <sup>3</sup> )
合計		10 t 車券 t 車券 t 車券	361 枚 枚 枚	5.55 m <sup>3</sup> m <sup>3</sup> m <sup>3</sup>	2,003.55 m <sup>3</sup> m <sup>3</sup> m <sup>3</sup>	2,003.55 m <sup>3</sup>

注意

搬入申込土量 ÷ 積載土量  
(端数切上)

- 1) 当書類は発券を分割で申請する場合にのみご提出ください。発券申請
- 2) 積載土量(地山)は使用車輛のトン数を平均単位体積重量で除し、小数第三位以下を切り捨てた数量とします。  
(例) 平均単位体積重量が1.8 t/m<sup>3</sup>の場合 10t車…5.55m<sup>3</sup>、4t車…2.22m<sup>3</sup>、3t車…1.66m<sup>3</sup>、2t車…1.11m<sup>3</sup>  
(横須賀市久里浜港の場合、10t車…6.66m<sup>3</sup>、4t車…2.66m<sup>3</sup>、3t車…1.99m<sup>3</sup>、2t車…1.33m<sup>3</sup>)

# 記入例

(様式 4)

平成〇〇年〇〇月〇〇日

## 発券申請書 (第1回)

[承諾番号 \_\_\_\_\_]

(株)建設資源広域利用センター 御中

パターン1:一括発券(支払)申請の場合  
搬入申込土量÷積載土量=発券枚数(端数切上)  
 $2,000 \text{ m}^3 \div 5.55 = 360.3 \Rightarrow 361 \text{ 枚}$   
パターン2:分割発券(支払)申請の場合  
分割発券申請予定表より算出してください。  
※ この例は分割発券(支払)です。

者 住所 東京都渋谷区渋谷2-17-5  
法人名 首都圏建設株式会社  
代表者職氏名 代表取締役 首都圏 太郎 (印)

次のとおり土砂搬入管理券の発券を申請します。

搬入先(受入地名)	青梅地区(ケ)				
発注機関	広域町水道建設事務所				
工事名	平成〇〇年水23号 広域町水道送水管敷設工事				
搬入申込土量	2,000.00 m <sup>3</sup>				
既発券土量	0 m <sup>3</sup> (a)				
今回発券枚数 及び発券土量	券種	発券枚数 (b)	積載土量 (c)	発券土量 (b) × (c)	発券土量の合計 (d)
	10t車券	217枚	5.55 m <sup>3</sup>	1,204.35 m <sup>3</sup>	1,204.35 m <sup>3</sup>
	t車券	枚	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
	t車券	枚	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
受入単価	(昼) / 夜	(地山1 m <sup>3</sup> 当たり)			2,480 円
支払予定日及び支払金額	6月22日	(税込)			3,225,731 円
累計発券土量	1,204.35 m <sup>3</sup> (a) + (d)				
受入地通行証必要枚数	10 枚				
備考欄					
工事請負者担当者(氏名) 建設 次郎 (電話) 000-000-0000 (携帯) 000-0000-0000 入金案内及び券送付先(FAX) 000-000-0000 (宛名) 首都圏建設(株)〇〇作業所 (郵便番号) 123-0045 (住所) 〇〇県〇〇市〇〇123					

注意

発券土量の合計 × 受入単価 = A (1円未満切捨て)  
A × 1.08 (消費税) = 支払金額 (1円未満切捨て)

1) 承諾番号は第2回目以降の発券申請の  
2) 積載土量(地山)は使用車輛のトン数  
とした数  
量とします。

(例) 平均単位体積重量が1.8 t/m<sup>3</sup>の場合 10t車...5.55 m<sup>3</sup>、4t車...2.22 m<sup>3</sup>、3t車...1.66 m<sup>3</sup>、2t車...1.11 m<sup>3</sup>  
(横須賀市久里浜港の場合、10t車...6.66 m<sup>3</sup>、4t車...2.66 m<sup>3</sup>、3t車...1.99 m<sup>3</sup>、2t車...1.33 m<sup>3</sup>)

※ 添付書類はUCR受入地利用案内及びHP掲載の提出書類一覧表にてご確認ください。

# 記入例

(様式 5-1)

## 地質分析(濃度)結果証明書

年 月 日

様

発生事業者名と一致  
していること

発行番号、検体区分・番号が入って  
いることを確認してください。

発行番号  
分析機関名  
代表者  
所在地  
電話番号  
計量証明事業者の登録番号  
環境計量士

㊞

㊞

年 月 日に依頼のあった検体について、溶出試験については平成3年環境庁告示第46号付表、含有量試験については平成15年環境省告示第19号付表に定める方法により検液を作成し、計量した結果を次のとおり証明します。  
(検体区分・番号)

依頼日は試料採取日  
またはその翌日

	単位	測定値	定量 下限値	基準値	計 量 方 法
溶 出 試 験	mg/l			0.01以下	日本工業規格 K0102 55
	全シアン	mg/l		不検出	日本工業規格 K0102 38(38.1.1の方法を除く)
	有機燐	mg/l		不検出	昭和49.9 環告第64号付表1、 日本工業規格 K0102 31.1のガスロマトグラフ法以外のもの
	鉛	mg/l		0.01以下	日本工業規格 K0102 54
	六価クロム	mg/l		0.05以下	日本工業規格 K0102 65.2
	砒素	mg/l		0.01以下	日本工業規格 K0102 61
	総水銀	mg/l		0.0005以下	昭和46.12 環告第59号付表1
	アルキル水銀	mg/l		不検出	昭和46.12 環告第59号付表2、昭和49.9 環告第64号付表3
	PCB	mg/l		不検出	昭和46.12 環告第59号付表3
	ジクロロメタン	mg/l		0.02以下	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.2
	四塩化炭素	mg/l		0.002以下	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5
	クロロエチレン	mg/l		0.002以下	平成9.3環告第10号付表
	1,2-ジクロロエタン	mg/l		0.004以下	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.3.2
	1,1-ジクロロエチレン	mg/l		0.1以下	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.2
	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/l		0.04以下	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.2
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/l		1以下	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/l		0.006以下	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5
	トリクロロエチレン	mg/l		0.03以下	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5
	テトラクロロエチレン	mg/l		0.01以下	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5
	1,3-ジクロロプロペン	mg/l		0.002以下	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1
	チウラム	mg/l		0.006以下	昭和46.12 環告第59号付表4
	シマジン	mg/l		0.003以下	昭和46.12 環告第59号付表5 第1、第2
	チオベンカルブ	mg/l		0.02以下	昭和46.12 環告第59号付表5 第1、第2
	ベンゼン	mg/l		0.01以下	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.2
	セレン	mg/l		0.01以下	日本工業規格 K0102 67.2、67.3、67.4
	ふっ素	mg/l		0.8以下	日本工業規格 K0102 34.1、34.4、34.1c(注(6)第3文を除く)、 昭和46.12環告第59号付表6
	ほう素	mg/l		1以下	日本工業規格 K0102 47.1、47.3、47.4
	1,4-ジメチル	mg/l		0.05以下	昭和46.12環告第59号付表7
含 有 量 試 験	銅(農用地)	mg/kg		125未満	昭和47.10 総令66号第1条第3項及び第2条
	砒素(農用地)	mg/kg		15未満	昭和50.4 総令31号第1条第3項及び第2条
	水銀及びその化合物	mg/kg		15以下	昭和46.12 環告第59号付表1
	カドミウム及びその化合物	mg/kg		150以下	日本工業規格 K0102 55
	鉛及びその化合物	mg/kg		150以下	日本工業規格 K0102 54
	砒素及びその化合物	mg/kg		150以下	日本工業規格 K0102 61
	六価クロム化合物	mg/kg		250以下	日本工業規格 K0102 65.2
	ふっ素及びその化合物	mg/kg		4,000以下	日本工業規格 K0102 34.1、34.4、34.1c(注(6)第3文を除く)、 昭和46.12環告第59号付表6
	ほう素及びその化合物	mg/kg		4,000以下	日本工業規格K0102 47.1 47.3 47.4
	セレン及びその化合物	mg/kg		150以下	日本工業規格 K0102 67.2、67.3、67.4
シアン化合物	mg/kg		(遊離シアン) 50以下	日本工業規格 K0102 38(38.1の方法を除く)	

検体の性状 形状 色 におい

備考 発生場所：  
発生事業者名：

分析対象外の項目は「-」を記入  
してください。

※計量証明の事業の工程の一部を外部の者に行わせた場合の当該工程を  
事業者の所在地：

この様式を使用する受入地  
 「市川港」「横浜鈴繁埠頭」「大磯町大磯港」「城南島」※  
 ※「横浜鈴繁埠頭」「城南島」についてはUCR担当者に  
 相談してください。

**記入例**

(様式 5-2)

第四号様式 (第四条第二項第十二号及び第五項第四号、第八条第三項並びに第十二条第一項第二号及び第二項)

**地質分析(濃度)結果証明書**

年 月 日

様

発生事業者名と一致していること

発行番号、検体区分・番号が入っていることを確認してください。

発行番号  
 分析機関名  
 代表者  
 所在地  
 電話番号  
 計量証明事業者の登録番号  
 環境計量士

年 月 日に依頼のあった検体について、平成3年環境庁告示第46号付表に定める方法により検液を作成し、計量した結果を次のとおり証明します。

(検体区分・番号)

計	依頼日は試料採取日 または翌日	定量 下限値	基準値	測定方法	
カドミウム	mg/l		0.01	日本工業規格 K0102 55	
全シアン	mg/l		不検出	日本工業規格 K0102 38 (38.1.1の方法を除く)	
有機燐	mg/l		不検出	昭和49.環告第64号付表1 日本工業規格 K0102 31.1のカスクロマトグラフ法以外のもの	
鉛	mg/l		0.01	日本工業規格 K0102 54	
六価クロム	mg/l		0.05	日本工業規格 K0102 65.2	
砒(ひ)素	mg/l		0.01	日本工業規格 K0102 61	
総水銀	mg/l		0.0005	昭和46.環告第59号付表1	
アルキル水銀	mg/l		不検出	昭和46.環告第59号付表2、昭和49.環告第64号付表3	
P C B	mg/l		不検出	昭和46.環告第59号付表3	
ジクロロメタン	mg/l		0.02	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.2	
四塩化炭素	mg/l		0.002	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5	
クロロエチレン	mg/l		0.002	平成9.環告第10号付表	
1,2-ジクロロエタン	mg/l		0.004	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.3.2	
1,1-ジクロロエチレン	mg/l		0.1	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.2	
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/l		0.04	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.2	
1,1,1-トリクロロエタン	mg/l		1	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5	
1,1,2-トリクロロエタン	mg/l		0.006	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5	
トリクロロエチレン	mg/l		0.03	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5	
テトラクロロエチレン	mg/l		0.01	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5	
1,3-ジクロロプロペン	mg/l		0.002	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1	
チウラム	mg/l		0.006	昭和46.環告第59号付表4	
シマジン	mg/l		0.003	昭和46.環告第59号付表5 第1、第2	
チオベンカルブ	mg/l		0.02	昭和46.環告第59号付表5 第1、第2	
ベンゼン	mg/l		0.01	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.2	
セレン	mg/l		0.01	日本工業規格 K0102 67.2、67.3、67.4	
ふっ素	mg/l		0.8	日本工業規格 K0102 34.1、34.4、昭和46.環告第59号付表6	
ほう素	mg/l		1	日本工業規格 K0102 47.1、47.3、47.4	
1,4-ジオキサン	mg/l		0.05	昭和46.環告第59号付表7	
農用地田 に限る	砒素	mg/kg	15	昭和50.総令第31号第1条第3項及び第2条	含有 試験
	銅	mg/kg	125	昭和47.総令第66号第1条第3項及び第2条	

検体の性状 形状 色 におい

備考 発生場所： 発生事業者名： 工事名： 土砂等発生元証明書の記載と同一にしてください。

\* 計量証明の事業の工程の一部を外部の者に行わせた場合の当該工程を実施事業者の所在地：

この様式を使用する受入地  
「三郷市 番匠」

# 記入例

(様式 5-3)

## 地質分析(濃度)結果証明書

年 月 日

様

発生事業者名と一致  
していること

発行番号、検体区分・番号が入っ  
ていることを確認してください。

発行番号  
分析機関名  
代表者  
所在地  
電話番号  
計量証明事業者の登録番号  
環境計量士

年 月 日に依頼のあった検体について、平成3年環境庁告示第46号付表に定める方法により検液を作成し、計量した結果を次のとおり証明します。

(検体区分・番号)

計量の対象	単位	測定値	定量 下限値	基準値	測定方法	
カドミウム				0.01	日本工業規格K0102(以下「規格」という。)55に定める方法	
全シアン				不検出	規格38に定める方法(規格38.1.1に定める方法を除く。)	
有機燐	mg/l			不検出	昭和49年告示付表1に掲げる方法又は規格31.1に定める方法のうちガスクロマトグラフ法以外のもの(メチルジメトンにあっては、昭和49年告示付表2に掲げる方法)	
鉛	mg/l			0.01	規格54に定める方法	
六価クロム	mg/l			0.05	規格65.2に定める方法	
砒(ひ)素	mg/l			0.01	検液中濃度に係るものにあつては規格61に定める方法	
総水銀	mg/l			0.0005	水質汚濁に係る環境基準について(昭和46年環境庁告示第59号。以下「昭和46年告示」という。)付表1に掲げる方法	
アルキル水銀	mg/l			不検出	昭和46年告示付表2及び昭和49年告示付表3に掲げる方法	
P C B	mg/l			不検出	昭和46年告示付表3に掲げる方法	
ジクロロメタン	mg/l			0.02	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法	
四塩化炭素	mg/l			0.002	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法	
クロロエチレン	mg/l			0.002	平成9.3環告第10号付表	
1,2-ジクロロエタン	mg/l			0.004	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1又は5.3.2に定める方法	
1,1-ジクロロエチレン	mg/l			0.1	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法	
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/l			0.04	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法	
1,1,1-トリクロロエタン	mg/l			1	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法	
1,1,2-トリクロロエタン	mg/l			0.006	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法	
トリクロロエチレン	mg/l			0.03	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法	
テトラクロロエチレン	mg/l			0.01	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法	
1,3-ジクロロプロパン	mg/l			0.002	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.1に定める方法	
チウラム	mg/l			0.006	昭和46年告示付表4に掲げる方法	
シマジン	mg/l			0.003	昭和46年告示付表5の第1又は第2に掲げる方法	
チオベンカルブ	mg/l			0.02	昭和46年告示付表5の第1又は第2に掲げる方法	
ベンゼン	mg/l			0.01	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法	
セレン	mg/l			0.01	規格67.2、67.3又は67.4に定める方法	
ふっ素	mg/l			0.8	規格34.1若しくは34.4に定める方法又は規格34.1c(注(6)第3文を除く。)に定める方法(懸濁物質及びイオンクロマトグラフ法で妨害となる物質が共存しない場合にあっては、これを省略することができる。)及び昭和46年告示付表6に掲げる方法	
ほう素	mg/l			1	規格47.1、47.3又は47.4に定める方法	
1,4-ジオキサン	mg/l			0.05	昭和46.12環告第59号付表7	
農用地田 に限る	砒素	mg/kg		15	農用地土壌汚染対策地域の指定要件に係る砒素の量の検定の方法を定める省令(昭和50年総理府令第31号)第1条第3項及び第2条に規定する方法	含有 試験
	銅	mg/kg		125	農用地土壌汚染対策地域の指定要件に係る銅の量の検定の方法を定める省令(昭和47年総理府令第66号)第1条第3項及び第2条に規定する方法	
検体の性状	形状			色	におい	
備考	発生場所： 発生事業者名：			工事名：	土砂等発生元証明書の記載と同一 にしてください。	

\* 計量証明の事業の工程の一部を外部の者に行わせた場合の当該工程を実施した事業者の氏名又は名称及び事業者の所在地：

第4号様式

この様式を使用する受入地  
「八潮市坊」

記入例

(様式 5-4)

地質分析(濃度)結果証明書

年 月 日

様

発生事業者名と一致  
していること

発行番号、検体区分・番号が入って  
いることを確認してください。

発行番号  
分析機関名  
代表者  
所在地  
電話番号  
計量証明事業者の登録番号  
環境計量士

㊞

㊞

年 月 日に依頼のあった検体について、平成3年環境庁告示第46号付表に定める方法により検液を作成し、計量した結果を次のとおり証明します。

(検体区分・番号)

計量の対象	単位	測定値	定量 下限値	基準値	測定方法	
カドミ 全シアン				0.01	日本工業規格 K0102 55	
有機 <sup>りん</sup> 燐	mg/l			不検出	日本工業規格 K0102 38(38. 1. 1の方法を除く)	
鉛	mg/l			0.01	昭和49. 環告第64号付表1 日本工業規格 K0102 31. 1のガスクロマトグラフ以外のもの	
六価クロム	mg/l			0.05	日本工業規格 K0102 65. 2	
砒素 総水銀 アルキル	<b>現在、受入停止中</b>					
PCB	mg/l			不検出	昭和46. 環告第59号付表3	
ジクロロメタン	mg/l			0.02	日本工業規格 K0125 5. 1, 5. 2, 5. 3. 2	
四塩化炭素	mg/l			0.002	日本工業規格 K0125 5. 1, 5. 2, 5. 3. 1, 5. 4. 1, 5. 5	
クロロエチレン(別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)	mg/l			0.002	平成9. 環告第10号付表	
1, 2-ジクロロエタン	mg/l			0.004	日本工業規格 K0125 5. 1, 5. 2, 5. 3. 1, 5. 3. 2	
1, 1-ジクロロエチレン	mg/l			0.1	日本工業規格 K0125 5. 1, 5. 2, 5. 3. 2	
シス-1, 2-ジクロロエチレン	mg/l			0.04	日本工業規格 K0125 5. 1, 5. 2, 5. 3. 2	
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/l			1	日本工業規格 K0125 5. 1, 5. 2, 5. 3. 1, 5. 4. 1, 5. 5	
1, 1, 2-トリクロロエタン	mg/l			0.006	日本工業規格 K0125 5. 1, 5. 2, 5. 3. 1, 5. 4. 1, 5. 5	
トリクロロエチレン	mg/l			0.03	日本工業規格 K0125 5. 1, 5. 2, 5. 3. 1, 5. 4. 1, 5. 5	
テトラクロロエチレン	mg/l			0.01	日本工業規格 K0125 5. 1, 5. 2, 5. 3. 1, 5. 4. 1, 5. 5	
1, 3-ジクロロプロペン	mg/l			0.002	日本工業規格 K0125 5. 1, 5. 2, 5. 3. 1	
チウラム	mg/l			0.006	昭和46. 環告第59号付表4	
シマジン	mg/l			0.003	昭和46. 環告第59号付表5第1, 第2	
チオベンカルブ	mg/l			0.02	昭和46. 環告第59号付表5第1, 第2	
ベンゼン	mg/l			0.01	日本工業規格 K0125 5. 1, 5. 2, 5. 3. 2	
セレン	mg/l			0.01	日本工業規格 K0102 67. 2, 67. 3, 67. 4	
水素イオン	—			4. 0~9. 0	日本工業規格 K0102 12. 1	
ふっ素	mg/l			0.8	日本工業規格 K0102 34. 1, 34. 4, 34. 1c)及び昭和46. 環告第59号付表6	
ほう素	mg/l			1	日本工業規格 K0102 47. 1, 47. 3, 47. 4	
1, 4-ジオキサン	mg/l			0.05	昭和46. 環告第59号付表7	
農用地田に 限る	砒素	mg/kg		15	昭和50. 総令第31号第1条第3項及び第2条	含有試験
	銅	mg/kg		125	昭和47. 総令第66号第1条第3項及び第2条	
検体の性状	形状			色	において	
備考	発生場所: 発生事業者名:		工事名:		土砂等発生元証明書の記載と同一 にしてください。	

※計量証明の事業の工程の一部を外部の者に行わせた場合の当該工程を実施した事業者の氏名又は名称及び事業者の所在地:



この様式を使用する受入地  
「横須賀市久里浜港」

# 記入例

(様式 5-5)

参考様式1 (規則第11条、第16条、第22条関係)

## 土壌検査結果証明書

年 月 日

様

発生事業者名と一致  
していること

発行番号、検体区分・番号が入っ  
ていることを確認してください。

発行番号  
分析機関名  
代表者  
所在地  
電話番号  
計量証明事業者の登録番号  
環境計量士

年 月 日に依頼のあった検体について、平成3年環境庁告示第46号付表に定める方法により検液を作成し、計量した結果を次のとおり証明します。

(検体区分・番号)

計量の対象	単位	測定値	定量 下限値	基準値	測定方法
カドミウム	mg/l			0.01	日本工業規格K0102 55
全シアン	mg/l			不検出	日本工業規格K0102 38(38.1.1の方法を除く)
有機燐	mg/l			不検出	昭和49年環告第64号付表1又は日本工業規格K0102 31.1に定める方法のうちガスクロマトグラフ法以外のもの
鉛	mg/l			0.01	日本工業規格K 0102 54
六価クロム	mg/l			0.05	日本工業規格K 0102 65・2 (ただし、規格K0102の65.2.6に定める方法により塩分の濃度の高い試料を測定する場合には、K0170-7の7a) 又は7b)に定める操作を行うものとする。)
砒素	mg/l			0.01	日本工業規格 K 0102 61
総水銀	mg/l			0.0005	昭和46 環告第59号付表1
アルキル水銀	mg/l			不検出	昭和46 環告第59号付表2、昭和49環告第64号付表3
P C B	mg/l			不検出	昭和46 環告第59号付表3
ジクロロメタン	mg/l			0.02	日本工業規格K0125 5.1、5.2又は5.3.2
四塩化炭素	mg/l			0.002	日本工業規格K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5
クロロエチレン	mg/l			0.002	平成9.3環告第10号付表
1,2-ジクロロエタン	mg/l			0.004	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1又は5.3.2
1,1-ジクロロエチレン	mg/l			0.1	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/l			0.04	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2
1,1,1-トリクロロエタン	mg/l			1	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5
1,1,2-トリクロロエタン	mg/l			0.006	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5
トリクロロエチレン	mg/l			0.03	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5
テトラクロロエチレン	mg/l			0.01	日本工業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5
1,3-ジクロロプロパン	mg/l			0.002	日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.1
チウラム	mg/l			0.006	昭和46環告第59号付表4
シマジン	mg/l			0.003	昭和46環告第59号付表5の第1又は第2
チオベンカルブ	mg/l			0.02	昭和46環告第59号付表5の第1又は第2
ベンゼン	mg/l			0.01	日本工業規格 K 0125 5.1、5.2又は5.3.2
セレン	mg/l			0.01	日本工業規格 K 0102 67.2、67.3又は67.4
ふっ素	mg/l			0.8	日本工業規格 K 0102 34.1若しくは34.4又は34.1c ((6)第3文を除く) 及び昭和46環告第59号付表6
ほう素	mg/l			1	日本工業規格 K 0102 規格47.1、47.3又は47.4
1,4-ジオキサン	mg/l			0.05	昭和46.12環告第59号付表7

依頼日は試料採取日  
または翌日

検体の性状 (任意記入)      P H      形状      色      匂い

備考      採取場所：  
工事名：  
上記工事の施工業者：  
計量証明の事業の工程の一部を外部の者に行わせた場合、当該工程の内容、事業者の氏名及び事業所の所在地を記入。  
委託した工程 ( 試料採取・検液作成・分析 )  
委託事業者の氏名又は名称：  
委託事業者の所在地：

土砂等発生元証明書の記載と同一  
にしてください。

提出が必要な受入地  
 「市川港」「横浜鈴繁埠頭」「大磯町大磯港」「城南島」※  
 ※「横浜鈴繁埠頭」「城南島」についてはUCR担当者に  
 相談してください。

記入例

(様式 6-1)

第九号様式 (第八条第二項)

土砂等発生元証明書

特定事業者名 様 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
 記入しないでください。

発生元事業者

住所 東京都渋谷区渋谷 2-17-5

工事請負者を記入してください。  
 代表者等の職印を押してください。

事業者名 首都圏建設株式会社

代表者又は現場責任者

代表取締役 首都圏 太郎 (印)

必ず担当者名を記入してください。

担当者 建設 次郎

電話番号(携帯) 〇〇〇-●●●●-△△△△

担当者の携帯等直接連絡可能な電話番号を記入してください。

工事現場から発生し、

「地質分析(濃度)結果証明書」の備考欄の記載と一致させてください。

なお、これらの土砂等は、廃棄物の処理及び清掃に関する  
 第137号)第2条第1項に規定する廃棄物ではありません。

工事名	平成〇〇年水23号 広域町水道送水管敷設工事	
工事施工場所	広域町大字利用	
発注者	広域町水道建設事務所	
当該工事での土砂発生総量 (工事全体の土量)	平成〇〇年6月1日～平成〇〇年2月15日	
当該工事に係る土砂等発生総量	7,000.00 m <sup>3</sup> (うち搬出契約量	m <sup>3</sup> )
今回の証明に係る土砂等の量	2,000.00 m <sup>3</sup> (5,000 m <sup>3</sup> 以内)	
発生土砂等の地質分析 (濃度)結果証明書の有無	有・無 別紙のとおり	
発生土砂等の区分	第三種建設発生土	
発生土砂等運搬契約者名	住所 広域町中央1-2	氏名 (株)資源工業
	住所	氏名
	住所	氏名
	住所	氏名
発生土砂等埋立事業者名	(一時たい積特定事業場) 住所	氏名
	(埋立て等の事業場) 住所	氏名

注 発生土砂等の区分の欄には、建設業に属する事業を行う者の再生資源の利用に関する  
 判断の基準となるべき事項を定める省令別表第1に規定する区分を記載すること。

別記様式第8号 (第9条関係)

# 土砂等発生元証明書

年 月 日

新里開発株式会社  
代表取締役社長 福島 八重子 様

住 所 東京都渋谷区渋谷2-17-5

発生元事業者 事業者名 首都圏建設株式会社

代表者又は現場責任者

代表取締役 首都圏太郎

又は 現場代理人 建設次郎

電話番号 ○○○-●●●-△△△△



次の工事 等から発生する土砂等について、次のとおり  
なお、これらの土砂等は、廃棄物の処理及び清掃に関する法  
棄物ではありません。

「地質分析(濃度)結果証明書」の備考欄の記載と一致さ  
せてください。

工 事 等 名	平成〇〇年水23号 広域町水道送水管敷設工事
工 事 等 施 工 場 所	広域町大字利用
発 注 者	広域町水道建設事務所
工 事 等 施 工 期 間	平成〇〇年6月1日～平成〇〇年2月15日
当該工事での土砂発生総量 (工事全体の土量)	7,000.00 m <sup>3</sup> (うち処分契約量 m <sup>3</sup> )
今回の証明に係る土砂等の量	2,000.00 m <sup>3</sup> (5,000 m <sup>3</sup> 以内)
発生土砂等の計量 証明書の有無	有
発生土砂等の区分	第三種建設発生土
発生土砂等運搬契約者	住所 広域町中央1-2 氏名 (株)資源工業
発生土砂等最終処分事業者	住所 氏名

契約工期を記入してください。

記入しないで  
ください。

今回の証明に関し、搬入する  
土量(別途土量計算必要)

必ず記入してください。

記入しないでください。

備考 発生土砂等の区分の欄には、建設業に属する事業を行う者の再資源化の利用に関する判断の基準となるべき事項を定める省令別表第1に規定する区分を記載すること。

提出が必要な受入地 「八潮市垢」

# 記入例

(様式 6-3)

第18号様式

## 土砂等発生元証明書

この辺りに捨印をお願いします。(誤字等修正がある場合に必要)

年 月 日

書類作成日(地質分析結果証明書発行日以降)

特定事業者名

### 現在、受入停止中

発生元事業者 住所 東京都渋谷区渋谷 2-17-5

事業者名 首都圏建設株式会社

代表者又は現場責任者の氏名

代表取締役 首都圏 太郎

工事請負者及び代表者を記入、会社印を押してください。(スタンプタイプ等の簡易印鑑は不可。)

印  
搬出予定土量が5,000 m<sup>3</sup>を超え、1検体以上提出の場合、ナンバリングをお願いします。

次のとおり搬出する土砂等が次の工事現場からであることを証明します。

「地質分析(濃度)結果証明書」の備考欄の記載と一致させてください。

なお、これらの土砂等は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和40年第137号)第2条第1項に規定する廃棄物ではありません。

工事名	平成〇〇年水23号 広域町水道送水管敷設工事①
工事施工場所	広域町大字利用
発注者	広域町水道建設事務所
当該工事での土砂発生総量(工事全体の土量)	平成〇〇年6月1日～平成〇〇年2月15日
当該工事に係る土砂等発生総量	7,000.00 m <sup>3</sup> (うち処分契約量 m <sup>3</sup> )
今回の証明に係る土砂等の量	2,000.00 m <sup>3</sup> (5,000 m <sup>3</sup> 以内)
発生土砂等の地質分析(濃度)結果証明書の有無	有・無 別紙のとおり
発生土砂等の区分	第三種建設発生土
発生土砂等運搬契約者名	住所 〇〇県広域町中央1-2 氏名 (株)資源工業
一時たい積特定事業場を経由する場合にあっては一時たい積特定事業者名	住所 氏名

契約工期を記入してください。

仮置土や転用土がある場合は差し引いた搬出土量を記載してください。

今回の証明に関し、搬入する土量(別途土量計算必要)

「八潮市垢」へ搬入する運搬事業者を記入してください。

記入しないでください。

別記第 12 号様式 (第 16 条関係)

# 土砂等発生元証明書

和歌山県知事 様

書類作成日 (土壤検査結果証明書発行日以降) 年 月 日

住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)  
 発生元事業者 **東京都渋谷区渋谷 2-17-5**  
 責任者氏名 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)  
**首都圏建設株式会社**  
 代表取締役 **首都圏 太郎** (印)  
 電話番号 **〇〇〇-●●●●-△△△△**

工事請負者を記入、代表者等の職印を押してください。

土砂等の発生について、次のとおり証明します。  
 なお、これらの土砂等は、廃棄物の処理及び清掃に関する廃棄物ではありません。

「土壤検査結果証明書」の備考欄の記載と一致させてください。

採取場所の所在地	〇〇〇県〇〇郡広域町大字利用	
証明に係る土砂等が建設工事等により発生した場合には、建設工事等の概要	工事名	平成〇〇年水 2 3 号 広域町水道送水管敷設工事
	発注者	広域町水道建設事務所 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">契約工期を記入してください。</span>
	工事施工期間	平成〇〇年 6 月 1 日 ~ 平成〇〇年 2 月 1 5 日
当該工事に係る土砂等の発生量	3, 000. 00 m <sup>3</sup> (うち今回の搬入量 m <sup>3</sup> )	変更後の地山土量
今回の証明に係る土砂等の量	1, 000. 00 m <sup>3</sup> (4)	差引増の地山土量
発生土砂等の汚染状況についての検査結果の証明書の有無	(有) ・ 無	
発生土砂等の区分	1 の (1) 1 の (2)、2	
証明に係る土砂等の運搬事業者の住所、氏名及び電話番号 (法人にあつては、その名称、代表者又は主たる事務所の所在地及び電話番号)	〇〇県〇〇郡広域町中央 1 - 2 (株) 資源工業 代表取締役 〇〇〇〇 電話 〇〇〇-△△△-〇〇〇〇	
証明に係る土砂等の使用者の住所、氏名及び電話番号 (法人にあつては、その名称、代表者又は主たる事務所の所在地及び電話番号)	神奈川県横須賀市吉井 2 丁目 7 番 1 号 株式会社 マルモリ 代表取締役 長森 豊 電話 046-841-4067	

備考

- 発生土砂等の区分については、産業廃棄物の保管及び土砂等の埋立て等の不適正処理防止に関する条例施行規則別表第 4 第 4 項の表中土砂等の区分欄の 1 の (1)、1 の (2)、2 の区分に該当するものを○で囲むこと。
- 氏名 (法人にあつては、その代表者の氏名) を記載し、押印することに代えて、本人 (法人にあつては、その代表者) が署名することができる。

(日本工業規格 A 列 4 番)

提出が必要な受入地  
「市川港」「横浜鈴繁埠頭」「大磯町大磯港」「城南島」※  
※「横浜鈴繁埠頭」「城南島」についてはUCR担当者に相談してください。

## 記入例

(様式 7-1)

第三号様式（第四条第二項第十二号及び第五項第四号、第八条第三項並びに第十二条第一項第二号及び第三号並びに第二項）

# 検査試料採取調書

年 月 日

採取者

住 所

所 属

職 氏 名

印

連絡先電話

採取された方の所属、氏名、連絡先を記入し、必ず採取者所属の会社印と職氏名印をお願いします。（スタンプタイプ等の簡易印鑑は不可）

別添地質分析（濃度）結果証明書（排水汚染状況測定（濃度）結果証明書）の検査試料を次のとおり採取しました。

検体区分及び番号	123456 - A	「地質分析（濃度）結果証明書」の検体区分・番号を転記してください。
報告区分	地質（表土・搬入・定期・廃止・完了・終了） 排水（定期・廃止・完了・終了）	
採取年月日	平成〇〇年6月12日	原則として、採取日の翌日までに分析機関に依頼してください。
採取日の天候	晴れ	
地質分析の場合の採取深度	GL - 0.5m, GL - 1.5m, GL - 2.5m, GL - 3.5m, GL - 4.5m	

注 検体区分の欄には、この調書に係る地質分析（濃度）結果証明書、排水汚染状況測定（濃度）結果証明書に記載された番号等を記載すること。

別記様式第9号 (第9条関係)

## 検査試料採取調書

年 月 日

採取者 住所  
所属  
職氏名  
電話番号採取された方の所属、氏名、  
連絡先を記入し、押印してく  
ださい。(採取者は工事請負業  
者、分析機関のいずれでも可)

印

別添計量証明書 (地質・水質) の検査試料を次のとおり採取しました。

検体区分	123456-A	「地質分析(濃度)結果証明書」の検体区分・番号を転記してください。
報告区分	地質 (搬入)・定期・廃止・完了) 水質 (定期・廃止・完了)	
採取年月日	平成〇〇年6月12日	原則として、採取日の翌日までに分析機関に依頼してください。
採取日の天候	晴れ	
地質分析の場合の採取深度	No. 1 No. 2 No. 3 No. 4 No. 5 GL-0.5m, GL-0.5m, GL-0.5m, GL-0.5m, GL-0.5m	

備考 検体区分の欄には、この調書に係る計量証明書に記載された発行番号等を記載すること。

第3号様式

## 検査試料採取調書

ボーリング等で採取日が数日間になる場合は最終日の日付を記載してください。

現在、受入停止中

住所

所属

職氏名

電話番号

採取された方の所属、氏名、連絡先を記入し、必ず採取者所属の会社印と職氏名印をお願いします。(スタンプタイプ等の簡易印鑑は不可。)

印

印

別添地質分析（濃度）結果証明書（排水汚染状況測定（濃度）結果証明書）の検査試料を次のとおり採取しました。

検体区分及び番号	123456-A	「地質分析（濃度）結果証明書」の検体区分・番号を転記してください。
報告区分	地質（表土・搬入・定期・廃止・完了・終了） 排水（定期・廃止・完了・終了）	
採取年月日	平成〇〇年6月12日	原則として、採取日の翌日までに分析機関に依頼してください。
採取日の天候	晴れ	
地質分析の場合の採取深度	GL-0.5m, GL-0.5m, GL-0.5m, GL-0.5m, GL-0.5m	



別記第6号様式（第11条、第16条、第22条関係）

## 検査試料採取調書

土壤検査結果証明書を発行する  
分析会社が記入してください。

年 月 日

(注意)

試料採取から分析、結果証明までを同一の分析会社が行う必要があります。

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）

採取者 ○○県○○市○○1-2-3

氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

○○地質分析株式会社

代表取締役 ○○○○

採取者 ○○○○

印

電話番号 ○○○-○○○-○○○○

別添土壤検査結果証明書（水質検査結果証明書）の検査試料を次のとおり採取しました。

採取した試料の検査結果を証明する書面に記載された発行番号	土壤検査結果証明書右肩の発行番号を転記してください。
検体区分	土砂等（表土 搬入） 定期・廃止・完了） 浸透水（定期・廃止・完了）
採取年月日	平成○○年6月12日 原則として、採取日の翌日までに分析機関に依頼してください。
採取日の天候	晴れ
土砂等の採取の場合にあっては、採取深度	No. 1 No. 2 No. 3 No. 4 No. 5 GL-0.5m, GL-0.5m, GL-0.5m, GL-0.5m, GL-0.5m

備考

- 1 試料採取は、計量証明を行う者の計量管理下で行うこと。
- 2 氏名（法人にあっては、その代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができる。

（日本工業規格A列4番）

工期延伸や土量増の時に提出が必要な受入地  
「市川港」「三郷市番匠免」「八潮市垢」「横浜鈴繁埠  
頭」「大磯町大磯港」「横須賀市久里浜港」「城南島」

## 土量増の 場合の記入例

(様式 8)

工期延伸の場合の記入について；  
表題を「工期の変更に伴う証明書」とし、変更  
(延伸)となる理由を記載してください。

平成 年 月 日

# 発生土量の変更に伴う証明書

工 事 名： 平成〇〇年水 2 3 号 広域町水道送水管敷設工事

路線・河川・区域名：

工 事 場 所： 〇〇県〇〇郡広域町大字利用

上記の工事について、**工事延長の増等** の理由から、発生土量を〇〇〇 m<sup>3</sup>  
から△△△ m<sup>3</sup>に変更したことに相違ありません。

発注機関 (所属・役職)

所 属 広域町水道建設事務所

担当者名 上水 道男

印

発生元事業者

事業者名 首都圏建設株式会社

代表者名 代表取締役 首都圏 太郎

印

申込土量より搬入土量が少ない場合は、必ず提出してください。

- ・未使用券がある場合
- ・設計変更により搬入土量が減となった場合

## 記入例

(様式 9)

平成〇〇年〇〇月〇〇日

# 土砂搬入完了精算書

[承諾番号 都-123456]

(株) 建設資源広域利用センター 御中

工事請負者 住所 **東京都渋谷区渋谷2-17-5**

法人名 **首都圏建設株式会社**

代表者職氏名 **代表取締役 首都圏 太郎** (印)

使用枚数 + 返却券枚数 = 発券枚数となります。

使用枚数 + 返却券枚数 = 発券枚数となります。搬入申込土量を下回ったので届け出ます。

搬入先 (受入地名)	<b>青梅地区 (ケ)</b>				
発注機関	<b>広域町水道建設事務所</b>				
工事名	<b>平成〇〇年水23号 広域町水道送水管敷設工事</b>				
搬入申込土量	<b>2,000.00</b> m <sup>3</sup>				
搬入完了土量 (券換算)	券種	使用枚数	積載土量	搬入土量	搬入土量の合計
	10 t 車券	<b>339</b> 枚	5.55 m <sup>3</sup>	1,881.45 m <sup>3</sup>	<b>1,881.45</b> m <sup>3</sup>
	t 車券		m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
	t 車券		m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	

上記に伴う受入料金の還付を下記のとおり申請します。

未使用返却券枚数 及び 返却券土量	券種	返却券枚数	積載土量	返却券土量	返却券土量の合計
	10 t 車券	<b>22</b> 枚	5.55 m <sup>3</sup>	122.10 m <sup>3</sup>	<b>122.10</b> m <sup>3</sup>
	t 車券		m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
t 車券	m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup>		

受入単価 (昼) / 夜 (地山 1 m<sup>3</sup>当たり) **2,480** 円

還付金額 (税込) **327,032** 円

還付先	金融機関・支店名	口座名義人 (フリガナ)	科目	口座番号					
	〇〇 銀行 〇〇 支店	(シトクワカガシガイヤ) <b>首都圏建設株式会社</b>	当座・普通 (印)	〇	〇	〇	〇	〇	〇

備考欄

工事請負者担当者 (氏名) **建設 次郎** (携帯) **000-0000-0000**  
(電話) **000-000-0000** (FAX) **000-000-0000**

返却券土量の合計 × 受入単価 = A (1円未満切捨て)  
A × 1.08 (消費税) = 還付金額 (1円未満切捨て)

上記のとおり相違ないことを申し添えます

発注機関 (所属) **広域町水道建設事務所**  
監督員 (氏名) **上水 道男** (印)  
(電話) **000-000-0000** (FAX) **000-000-0000**

注意 1) 備考欄は工事請負者と払戻先口座名義人が異なるとき、双方の関係をご記入ください。

# 記入例

(様式 10)

年 月 日

## 土砂搬入完了届

[承諾番号 都-123456]

(株) 建設資源広域利用センター 御中

工事請負者 住 所 東京都渋谷区渋谷2-17-5

法人名 首都圏建設株式会社

代表者職氏名 代表取締役 首都圏 太郎

現場代理人 氏名 建設 次郎 (印)

次のとおり搬入申込土量全量の搬入が完了したので届け出ます。

搬入先（受入地名）	青梅地区（ケ）
発 注 機 関	広域町水道建設事務所
工 事 名	平成〇〇年水23号 広域町水道送水管敷設工事
搬入申込土量	2,000.00 m <sup>3</sup>
搬入完了土量	上記搬入申込土量のとおり
備 考 欄	
工事請負者担当者（氏名）	建設 次郎 （携帯）000-0000-0000 （電話）000-000-0000 （FAX）000-000-0000

注意

1) 土量は、横須賀市久里浜港はほぐし土量、それ以外の受入地は地山土量とします。

※ 土砂搬入完了精算書や土砂搬入完了確認依頼書を提出する場合は当書類（土砂搬入完了届）の提出は不要です。

UCRからの「土砂搬入完了確認書」が必要な場合に提出してください。

## 記入例

(様式 11)

年 月 日

# 土砂搬入完了確認依頼書

[承諾番号 都-123456]

(株) 建設資源広域利用センター 御中

工事請負者 住 所 **東京都渋谷区渋谷2-17-5**

法人名 **首都圏建設株式会社**

代表者職氏名 **代表取締役 首都圏 太郎** (印)

次のとおり建設発生土の搬入を完了したので確認書の発行を依頼します。

搬入先(受入地名)	<b>青梅地区(ケ)</b>				
発注機関	<b>広域町水道建設事務所</b>				
工事名	<b>平成〇〇年水23号 広域町水道送水管敷設工事</b>				
工事場所	<b>広域町大字利用</b>				
搬入申込土量	<b>2,000.00 m<sup>3</sup></b>				
搬入完了土量 (券換算)	券種	使用枚数	積載土量	搬入土量	搬入土量の合計
	<b>10 t車券</b>	<b>339枚</b>	<b>5.55 m<sup>3</sup></b>	<b>1,881.45 m<sup>3</sup></b>	<b>1,881.45 m<sup>3</sup></b>
	t車券	枚	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
t車券	枚	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>		
土砂搬入開始日	平成〇〇年 <b>7</b> 月 <b>4</b> 日				
土砂搬入完了日	平成〇〇年 <b>11</b> 月 <b>8</b> 日				
工事請負者担当者(氏名)	<b>建設 次郎</b>		(電話)	<b>000-000-0000 (FAX) 000-000-0000</b>	
完了確認書送付先(宛名)	<b>首都圏建設(株)〇〇作業所</b>				
	(郵便番号)	<b>123-0045</b>	(住所)	<b>〇〇県〇〇市〇〇123</b>	

### 注意

- 土量は、横須賀市久里浜港はほぐし土量、それ以外の受入地は地山土量とします。
- 土砂搬入完了確認書の発行を希望する場合は必ず当書類を提出してください。

提出が必要な受入地  
「青梅、八王子地区」「相模湖鶴島土地改良区」

# 記入例

(様式 12-1)

年 月 日

## 運搬車両一覧表

工事名 平成〇〇年水23号 広域町水道送水管敷設工事

工事請負者 首都圏建設株式会社

20台を超える場合、  
2ページ目は21～  
3ページ目は41～  
としてください。

運搬事業者名 (株)資源工業

住 所 〇〇県〇〇郡広域町中央1-2

電話番号 〇〇〇-△△△-〇〇〇〇

	ナンバー	背番号
1	大宮123 あ 1123	大宮建1234
2	ナンバープレートの情報を記入してください。	荷台表記の情報を記入してください。
3		
4		
5		
6	受入地に土砂を搬入する全ての車両を記載してください。	
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18	八王子地区(2)へ搬入される場合は、八王子砕石協会に登録されている車両に限ります。	
19		
20		

\* 注 排ガス規制をクリアしていない車両は使用できません

\* 注 車検証・運転免許証等の写しを添付する必要はありません

提出が必要な受入地  
「秋ヶ瀬ヤード」

# 記入例

(様式 12-2)

## 運搬車輛一覽表

30台を超える場合、No.を  
2ページ目は31～  
3ページ目は61～  
としてください。

承諾番号  
発注者  
工事件名  
請負業者  
電話番号

広域町水道建設事務所  
平成〇〇年水 23号広域町水道送水管敷設工事  
首都圏建設株式会社  
〇〇〇-△△△-〇〇〇〇

No.	メーカー	積載重量 (t)	登録番号	車番	初年度登録年月	型式	粒子状物質排出基準(条例)の適合			運搬事業者	表示番号
							基準を満たす車	減少装置装着車 ステッカー有無	規制が猶予される車		
例	いすゞ	10	大宮123あ	1123	13.9	KK-		有		〇〇土建	大宮建1234
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
26											
27											
28											
29											
30											

受入地に土砂を搬入する全ての車両を記載してください。

※ 条例(九都県市)で定める粒子状物質排出基準を満たさないディーゼル車は搬入できません。  
※ 車検証の備考欄に記載されている「NOX・PM適合」の有無は条例の適否を示すものではありません。  
型式 : 自動車検査書の「型式」欄の識別記号を記入する。  
基準を満たす車 : 新しい形式のディーゼル車(基準に適合する型式)規制対象外。  
減少装置装着車 : 条例に定める規制対象車に「粒子状物質減少装置」を装着した車。  
規制が猶予される車 : 新車登録から7年間の猶予期間内の車。

(様式 13)

平成 年 月 日

## 仮置場使用確認書

工事請負者 住 所 東京都渋谷区渋谷 2-17-5  
法人名 首都圏建設株式会社  
代表者職氏名 代表取締役 首都圏 太郎 (印)  
電 話 000-0000-0000

当工事において発生した土砂を下記の仮置場に仮置後、青梅地区(ケ)受入地へ搬入いたします。  
なお、仮置期間中は、他の工事より発生した土砂が混入することの無いよう適正に管理いたします。

工 事 名	平成〇〇年水 2 3 号 広域町水道送水管敷設工事		
発 注 機 関	広域町水道建設事務所		
契 約 工 期	平成〇〇年 6 月 1 日 ~ 平成〇〇年 2 月 15 日		
工 事 場 所	広域町大字利用		
仮 置 土 量	1, 0 0 0. 0 0 m <sup>3</sup>		
仮置予定期間	平成〇〇年 6 月 28 日 ~ 平成〇〇年 11 月 8 日 ※土砂の仮置期間を記入してください。		
仮置場	住所	広域町大字利用 1 2 3	
	名称	〇〇建設資材置場 または 工所用借地等	

上記の記載事項については、相違ないことを確認しました。

発注機関 (所属)	広域町水道建設事務所	(氏名)	上水 道男 (印)
--------------	------------	------	-----------

添付書類 (案内図、平面図、現地写真) 平面図には置場及び寸法を明記すること



建設残土発生場所等証明書		
建設残土発生場所の概要	所在地	〇〇県〇〇郡広域町大字利用
	工事名	平成〇〇年水23号 広域町水道送水管敷設工事
	発注者	住所 〇〇県〇〇郡広域町1-1 氏名 広域町水道建設事務所 電話番号 〇〇〇-△△△-〇〇〇〇
	工事期間	平成〇〇年6月1日～平成〇〇年2月15日
請負業者の住所、氏名及び電話番号	東京都渋谷区渋谷2-17-5 首都圏建設株式会社 代表取締役 首都圏 太郎 000-000-0000	
土砂集積業者の住所、氏名及び電話番号	神奈川県横須賀市吉井2丁目7番1号 株式会社マルモリ 代表取締役 長森豊 046-841-4067	
海上運搬業者の住所、氏名及び電話番号	徳島県板野郡松茂町笹木野字八山開拓36-10 住若海運株式会社 代表取締役 坂崎誠一 088-699-6622	
建設残土搬入港名	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">           記入しないでください。         </div>	
同 搬入年月日		
同 搬入土量		
<p>上記のとおりであることを証明します。</p> <p>松山市長 野志 克仁 殿</p> <p style="text-align: right;">平成 年 月 日</p>		
請負業者	住所	東京都渋谷区渋谷2-17-5
	氏名	首都圏建設株式会社 代表取締役 首都圏太郎 (印)
	電話番号	000-000-0000
土砂集積業者	住所	神奈川県横須賀市吉井2丁目7番1号
	氏名	株式会社マルモリ 代表取締役 長森豊 (印)
	電話番号	046-841-4067
海上運搬業者	住所	徳島県板野郡松茂町笹木野字八山開拓36-10
	氏名	住若海運株式会社 代表取締役 坂崎誠一 (印)
	電話番号	088-699-6622

注1 「住所氏名」は、法人にあっては、主たる事務所の所在地並びにその名称及び代表者の氏名を記載のこと。

2 建設残土運搬課程において、上記以外の業者が関係する場合（例えば、陸上運搬業者、掘削業者等）にあっては、その業者についても記載のこと。